

## 桃井第二小学校校舎改築基本方針（たたき台）

改築基本方針（たたき台）	これまでの主な意見
<p><b>1 多様な学びの場を備え、質の高い学習環境を備えた学校をつくる</b></p> <p>A 一斉指導、チームティーチング(TT)、個別・少人数指導、グループ学習など多様な学習形態に対応できる施設とする。</p> <p>B 電子黒板やタブレット型情報端末などの ICT や図書教育環境を充実させ、児童が自ら考え、判断し、表現する力を育む施設整備を行う。</p> <p>C プールの屋上設置や屋内運動場の重層化などを行うことも含め、子どもたちが元気に遊べ、ゆとりのある広さの校庭を設ける。</p> <p>D 特別支援学級を充実させるとともに、通常級の子どもたちとの交流を深められる学級配置とユニバーサルデザインに配慮された施設とする。</p>	<p>○学力の向上に努め、講師を入れて少人数クラス展開を行うなど、きめ細かい指導を行えることが重要だ。(A)</p> <p>○「持続可能な発展のための教育 (ESD)」の視点に立ち、子どもたち自ら課題設定・解決に取り組む教育活動を行っている。(A・B)</p> <p>○充実した理科室設備になるとよい。(A・B)</p> <p>○タブレットパソコンや電子黒板を活用した学習の取り組みが欠かせない。(B)</p> <p>○読み聞かせの充実や読書週間の設定など、読書活動の推進を行っている。(B)</p> <p>○体力の向上に努め、ランニング、長縄大会や朝庭の実施など進んで運動できる環境づくりを行っている。(C)</p> <p>○地域にあまり広場がないので、プールと体育館をセットにして全部校庭用地にするのが理想。(C)</p> <p>○校庭をできるだけ広く確保すべき。(C)</p> <p>○特別支援学級（ひまわり学級）が併設され、日常的に通常学級の子どもたちと交流を深めている。(D)</p>
<p><b>2 安全・安心で快適な生活空間としての学校をつくる</b></p> <p>E 不審者の侵入防止などの安全対策を十分に講じるとともに、子どもたちが子どもらしく伸び伸び過ごせる配置計画とする。</p> <p>F 学童クラブを学校内に設置するとともに、小学生の放課後等居場所事業を合わせて実施することとし、放課後に子どもたちが安心して過ごせる場所をつくる。</p>	<p>○門頭であいさつ運動を継続して実施している。(E)</p> <p>○子どもたちが元気に遊べるいい場所としての施設づくりをして欲しい。(E)</p> <p>○学校内学童の設置にあたっては、学校と放課後の気持ちの切り替わり面を配慮して欲しい。(F)</p> <p>○放課後遊びができる学校になれば、子どもたちの健全育成環境が充実する。(F)</p>
<p><b>3 地域に開かれ、地域とともに子どもたちの健やかな成長を育む学校をつくる</b></p> <p>G 地域住民が使える開放会議室を設けるなど、地域と学校との「かかわり」を伸ばし、地域コミュニティの核となる施設とする。</p> <p>H 近隣の保育園児等が遊べる小規模の遊び場を整備するなど、就学前から親しみが湧く学校をつくる。</p> <p>I 震災・水害問わず、災害時の防災拠点、支えあいの拠点として機能する施設とする。</p>	<p>○子どもたちを地域の人たちが見守り、交流ができるような学校づくりが必要である。(G)</p> <p>○小中一貫教育を推進するとともに、地域とのつながりを一層助長する施設づくりを進めるべき。(G)</p> <p>○現在、近隣保育園・幼稚園が運動会に利用するなどしており、幼保小の交流活動の一層の推進が重要。(H)</p> <p>○校庭と近隣地盤に高低差があり、校庭の水が外部に流出してしまう点が課題である。(I)</p>